

SUMMER PARTY の報告

— 関洋介先生による最新の医療動向のお話を中心に —

去る 6 月 20 日（土）、恒例の日本ミネソタ会の Summer Party が、昨年に引き続き新宿三井クラブにおいて開催されました。

懇親会に先立って「肥満・糖尿病に対する最新治療～Think Different～」と題し、四谷メディカルキューブ・減量・糖尿病外科センター副センター長の関洋介先生にご講演でパーティはスタート。多くの人に共通のトピックであるダイエット・健康を中心に、最先端の医療事情も含めた興味深い話題について、とてもわかりやすくご話いただきました。初めて参加いただいた方も多く、その後の懇親会を通じて、いつものように世代を超えた交流が楽しく活発に行われました。

このパーティでも、現役学生を含む若い方々に事前準備・運営等で多大な協力をお願いしました。若手 Minnesotan を代表してお二人にパーティの感想を寄稿してもらいました。山崎量平さんは、本年 5 月にミネソタへの留学から帰国したばかりの中央大学生。パーティでは、最新のミネソタ事情等についてご報告してくれました。

井上裕代さんは、ミネソタで心理学を勉強されて帰国後、医療のキャリアを志して勉強中。今回、関先生のご講演を企画するにあたって、様々なお手伝いをいただきました。ありがとうございます！

「留学生生活を終えて」

先月ミネソタ大学での留学生生活を終えて日本に帰国しました。正直なところ、ミネソタ大学を留学先として選んだことに理由はほとんどなかったのですが、今思えばその適当さが日本ミネソタ会の方々との貴重な出会いへとつながっていたのだと思います。留学中は楽しいことだけではなく、むしろ苦しいことや辛いことの方が僕にとっては多かったと思いますが、その厳しい環境の中から多くのことを学び、人間として一回りも二回りも成長できました。ミネソタという共通点で世代を超えて幅広く多くの方と交流する場がもてることをとてもうれしく思っています。これからもミネソタOBとして積極的に活動に参加していければと思います！！（中央大学・山崎量平）

「関先生の講演をお聴きして」

医療界の第一線でご活躍されている関先生から、万病の元である肥満や糖尿病の実態について、また最新の治療法とその効果、肥満を改善する大切さについてお話しいただきました。多くのダイエット法で溢れかえるこの時代に、自分のために、また自分の大事な人のために根拠ある医療を選択することが大切だと感じました。また、これまでの日本の医療では内科的なダイエット法が主流であり、外科的な介入はとても斬新であったため、なかなか受け入れられなかったそうです。そのような中でも強い意志を持って貫き確立させている先生のお話をお聞きし、先生の「Think different」という言葉は、これから多くのことを学び、チャレンジしていく私たちの心に強く響きました。（井上裕代）

<ご参考>関洋介先生のプロフィール：1972 年、大阪出身。大阪大学医学部卒業後、大阪大学医学部附属病院、大阪府立成人病センター、さらに、臨床医としての 2 度の海外勤務（フリンダーズ大学医学部（Clinical Fellow）、ミネソタ大学医学部（Visiting Assistant Professor））を経て、現在、四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター副センター長ならびに肥満・糖尿病臨床研究部門チーフをされています。2005 年「内視鏡下縫合・結紮技術コンテスト第 1 位」、2008 年「大阪対ガン協会賞」など名誉ある受賞歴もあり、これからますます国内外での活躍が期待されています。

パーティ終了後、現在就活中の学生さんが、4名ほどのミネソタの大先輩方に誘われて、2次会に向かう様子を拝見し、幹事としてとても嬉しく感じました。
来年も、多くの方々に参加していただけるよう、楽しいパーティを企画していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

(中村記)